

基金通信

世界
遺産

サマルカンドー文化交差点(ウズベキスタン)

シルクロードの中心的な都市として栄えたサマルカンド。「サマル」は人々が出会う、「カンド」は町という意味で、古来より世界の文化や人々が行き交う場所だった。13世紀にモンゴルの襲撃で破壊されたが、14世紀に英雄ティムールが再建。青いタイルが美しいモスク等のイスラム建築が多く築かれた。

